



# 浦戸まるごと MAP



## 【アクセス】

JR高知駅より車で約28分  
はりまや橋より車で約24分  
高知ICより車で約33分  
高知龍馬空港より車で約26分

## 浦戸地域内連携協議会

〒781-0262 高知県高知市浦戸274-9  
☎ 088-842-2405 FAX.088-842-2510  
HP <http://www.urado.sakura.ne.jp/>

## ①坂本龍馬像

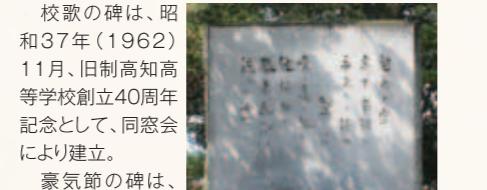
MAP/F-2



坂本龍馬は、土佐海援隊を率い、薩長連合に尽力し新政府の基本政策となる船中八策を草し、遠い外國に思いをはせていた維新的英雄。坂本龍馬を慕う多数の青年たちが全県下を募金行脚し、昭和3年(1928)5月建立したもの。高さは台座も合わせ13.5m。

②旧制高知高等学校校歌  
の碑・豪氣節の碑

MAP/F-2



校歌の碑は、昭和37年(1962)11月、旧制高知高等学校創立40周年記念として、同窓会により建立。豪氣節の碑は、昭和42年(1967)11月、旧制高知高等学校創立45周年を記念して建立。豪氣節は、旧制高知高等学校の寮歌。

## 浦戸の歴史

浦戸は“浦の門戸”的意。浦戸は近年、弥生時代後期の土器が発見されていて、古くから人々が住んでいた。紀貫之『土佐日記』に、承平4年(934)12月27日「大津より浦戸をさして漕ぎ出づ…今宵浦戸に泊る」とあり、その頃から近畿へ海路の港であった。

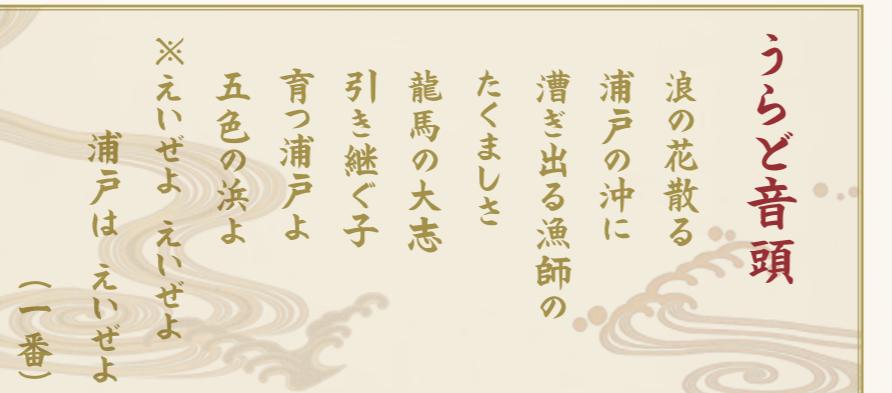
室町時代には、浦戸港は明との勘合貿易の中継地として、土佐沖を航海する南海航路の寄港地として大きな役割を果たしていた。

16世紀後半のヨーロッパで出されていた世界地図には土佐があり、浦戸は世界に知られる港であった。文禄5年(1596)にはイスパニア(スペイン)のサン・フェリペ号が漂着した。これは後に長崎における26聖人の殉教、徳川幕府の鎖国政策につながる重大な事件となる。

長宗我部は浦戸を水軍の基地としたが、山内の時代となり城は高知に移されると、軍事的な重要性は失われ、城下と上方への連絡港とされた。

藩政時代は勝浦浜村が独立してあったが、明治元年(1868)浦戸村に合併。昭和17年(1942)6月1日高知市に編入のため、吾川郡浦戸村は廃止。

近年は、漫画家・西原理恵子が幼少期を過ごし、作品にも登場するので、映画「いけちゃんとぼく」では、浦戸でロケが行われた。



## ⑥田中桃葉記念碑

MAP/F-2



碑は、昭和18年(1943)7月建立。桃葉こと田中寅太郎は、明治13年(1880)旧仁井田村生まれ。当時仁井田村に桃が多かつたことから「桃葉」と号した。大町桂月に師事し、小説家となる。桂月と同じく酒を愛し、酒仙と呼ばれた。

## ⑦大町桂月記念碑

MAP/F-2



背面と歌  
みよや見よ  
みな月のみのかつら浜  
海のおもいづる月かげ  
大正七年かく 桂月  
昭和4年(1929)4月、  
大町桂月先生記念碑建設  
会建立。大町桂月は本名  
芳衛、明治2年(1869)に  
元土佐藩士大町通の子と  
して生まれる。桂浜をよ  
なく愛し、桂月を号した。

## ⑧横山黄木詩碑

MAP/E-2



碑は、昭和13年(1938)黄木先生詩碑建立会、高知市立商業学校校友会志により建立。横山黄木は本名又吉。自由民権家、漢詩人。高知市職員のとき、商業学校創立に奔走。初代高知商業学校校長となる。

## ⑫高浜虚子句碑

MAP/E-2



「海底に珊瑚花咲く絶(はぜ)を釣る」この句は、高浜虚子が昭和24年(1949)10月来高した時の句。句碑は昭和31年(1956)6月建立。

## ⑬シェイクハンド龍馬

MAP/E-2



右手を差し出した坂本龍馬の銅像。NHK大河ドラマ「龍馬伝」で犬猿の対戦関係にあつた坂本龍馬と後藤象二郎が大政奉還を前にすべての怨念を捨て、人々の幸せのために握手した。そこからシェイクハンド龍馬像の発想が生まれた。

⑯一領具足供養の地  
(石丸神社・六体地蔵・忠魂不滅の碑)

MAP/D-3



慶長5年(1600)関ヶ原の戦で敗れた長宗我部は浦戸城の明け渡しを拒んだ。一領具足は重役家臣団と対立して戦い273人が殺された。評定中に裁われた役所跡に胴体を葬り供養のため石丸塚となる。首は他の者とともに、大坂に送られた。これを浦戸一領といいう。

石丸塚はのちに石丸神社となるが、昭和33年(1958)桂浜道路整備のため、現在地に移された。

六体地蔵は、昭和10年(1935)4月、芸西村長谷地蔵の住職、堀川善明尼が、一領具足供養のため、広く浄財を募り建立した。

忠魂不滅の碑は土井晚翠の詩、寺石正路撰文、野村茂久馬の書による碑で六体地蔵の横に建つ。

## ⑨桂浜水族館

MAP/E-2

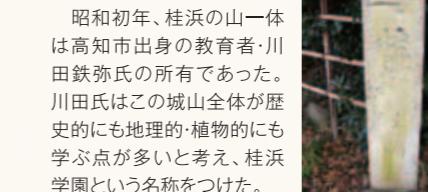


全国的に珍しい浜辺に建つ水族館で桂浜観光には外せないスポット。生き物との距離が日本一近いのが魅力。全国一の飼育数を誇るアカメの群泳は必見。ペンギン・ウミガメのエサやり体験など海の生き物とのふれあいが多く、四国初のドドシャーは子どもも大人も楽しめる。

●開館時間／9:00～17:00

## ⑩桂浜学園の碑

MAP/E-1



昭和初年、桂浜の山一体は高知市出身の教育者・川田鉄弥氏の所有であった。川田氏はこの城山全体が歴史的にも地理的・植物的にも学ぶ点が多いと考え、桂浜学園という名称をつけた。

## ⑪浦戸城址の碑

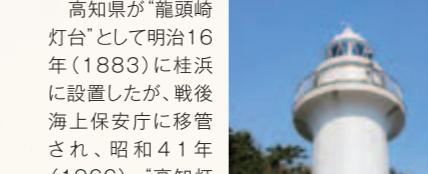
MAP/E-2



碑は、大正8年(1919)7月、高千穂学校建立。題字は海軍元帥東郷平八郎、碑文は川田鉄弥の書。碑文の作者川田鉄弥は、明治6年(1873)土佐郡初月村(現高知市)生まれの教育者。

## ⑯片岡半斎の墓・石碑

MAP/D-2



片岡半斎は尾張出身の武士。初め織田信長の家老に仕え、のちには美濃金山城主森近忠政に仕えた。以後関ヶ原の合戦、大坂冬・夏の陣をはさんで、転々と主君を変えること9回。寛永5年(1628)土佐に来て、この地にあった山内家の老野中直継(兼山の養父)の別宅客として住んだ。(山内家齋碑文)

## ㉑稻荷大明神

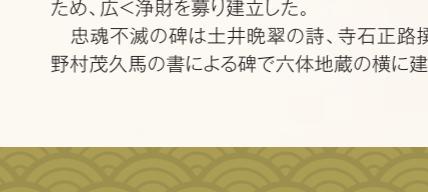
MAP/D-2



高知の海の玄関口である浦戸湾の入り口に架かり種崎と桂浜間が結ばれている。浦戸大橋は、全長1480m(橋梁部915m・土工部565m)、高さ50m、車道幅6.5m、歩道幅0.75m×2、昭和47年(1972)7月に完成。高知県道14号春野赤岡線として高知県が管理。

## ㉒津波記念の碑

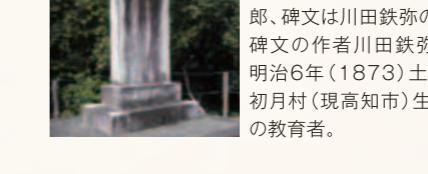
MAP/D-2



石碑には、「安政元年十一月五日大地震津浪、後天人大地震有り有時津浪入と心得べし大黒屋七郎建立」とある。安政南海大地震は、安政元年(嘉永7年11月5日1854)に発生し、「寅の大変」とも言われる。

## ㉓観海亭

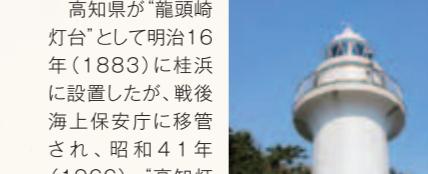
MAP/D-2



旧浦戸御殿で、藩政時代、山内家の別邸で御浜御殿と呼び、後には觀瀬閣ともいった。用材がトガであるため通称梅御殿ともいう。ここは、御船乗初式のとき藩主が御覽になった建物である。

## ㉔受法寺

MAP/C-2



宇賀神社は宇賀長者が白鳳年間(672~685)に土佐の富豪の祖先を祀ったといわれる。本殿のある小丘は「宇賀塚」(糠塚)と呼ばれ、長者が作ったたくさんの米の糠を捨て、小さな塚ができてやがて小山のようになったところからつけられた。

## ㉕吉松桂門の墓

MAP/C-3~4



山号は龍頭山。淨土真宗本願寺派(西本願寺)の寺院。受法寺は永正年間(1504~21)堺の僧正善により真宗道場として開かれる。第2代は長宗我部の臣家であつた池慶乗。文禄年間(1592~96)に受法寺に改修される。

また、大棟の両端に用いた2面一対の鬼瓦を所蔵しており、額に日輪の入った陽の鬼瓦と額に三日月を飾った陰の鬼瓦は細かい表現にその違いを見せている。

㉖長宗我部元親公  
初陣像

MAP/C-3



長宗我部元親公初陣像は、没後400年にあたる平成11年(1999)5月地元有志によって建立。

## ㉗長宗我部の波止(元親波止)

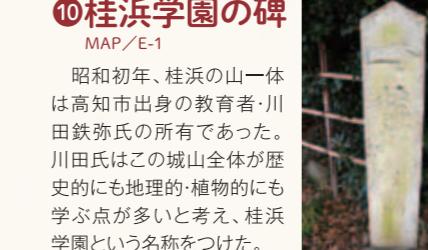
MAP/D-1



浦戸湾の入口に架かる浦戸大橋は、全長1480m(橋梁部915m・土工部565m)、高さ50m、車道幅6.5m、歩道幅0.75m×2、昭和47年(1972)7月に完成。高知県道14号春野赤岡線として高知県が管理。

## ㉘長宗我部元親の墓

MAP/D-1



元親は天文8年(1539)、岡豊城主・國親の子として生まれました。永禄3年(1560)5月、22歳で長浜合戦で初陣を飾り、同年・父・國親の死後は戦陣に明け暮れ15年で土佐を統一、続いて10年をかけ天正13年(1585)春、四国を平定。しかし、この年の8月秀吉の四国征伐の前に降伏し、土佐一国に領有を許される。翌14年、秀吉の命を受けた豊後戸次川の戦いで、最愛の長男・信親を失いました。戦国武将であった元親は、その後政治家としての面目も發揮します。

今に残る長宗我部地候帳や長宗我部元親百箇条などの法令を制定し、大坂城(高知)を経て浦戸へ移転し、浦戸城主となり城下町を建設。慶長4年(1599)5月19日、61歳。伏見の邸で亡くなる。